

市長との約束 2021



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

総務部理事(財政担当)

渋谷 勝

約束内容	持続可能な財政運営確保に向けた取組
達成目標	一般会計の長期財政見通し（10年間・R3～12）及び仮称「財政健全化行動計画」を、本年9月を目途に策定し、公表します。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★☆☆
達成状況	「長期財政見通し」と「財政健全化行動指針」を立て、当初予算編成に臨んだが、結果として4年度当初予算における財政調整基金繰入は+1.5億円、短期財政計画による6年度末財政調整基金の残高見込は△16億円と、一般財源不足の深刻度が増している。東北財務局の協力を得て「財政運営研修会」を開催し、客観的な現状認識と行動指針による取組の必要性を共有したが、4年度予算編成への取組効果は限定的であった。
今後の課題解決策	4年度の予算執行及び補正予算措置にあたっては、より一層の経費節減と歳入確保に努めるよう、各部署に要請して行きたい。5年度予算編成に向けて事務事業の総点検を実施し、さらに行革の取組と連動させ、上半期に一般財源所要額を算定し不足額への対応方針を定めたい。

約束内容	入札・契約事務の適正化に向けた取組
達成目標	大崎市入札・契約事務検討会議報告書（H31.1）に基づき、本年度の入札契約方針に掲げた見直しの取組を実行します。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★☆☆
達成状況	建設関連業務への「総合評価落札方式の導入」及び「最低制限価格算出方法の見直し」は、試行に向けての課題が多く、なお検討が必要である。 「電子決裁の導入」及び「決裁ルートの見直し」については、システム環境の現状に課題があるため、試行には至らなかった。予定価格の事前公表は、物品購入で2件の入札を試行し、事後には関係事業者へのアンケート調査を実施した。
今後の課題解決策	入札・契約事務検討会議報告書の作成から3年が経過したため、この間の取組実績を総括し、4年度以降の入札契約方針を取りまとめ、より適正な制度設計と運用方法を探求する取組を継続したい。議会や業界団体の要望を踏まえて、総合評価落札方式の落札者決定基準の配点や評価項目を見直し、4年度から運用を通してその効果を検証していく。

約束内容	公共施設等総合管理計画の推進に向けた取組
達成目標	個別施設計画の具体的検討を深化させ、本年度に策定する総合計画実施計画（R 4～6）に反映させます。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★★★
達成状況	個別施設計画の施設方針により、各分野での検討を促したが、実施計画（R 4～6）へ新規計上できた事業は無かった。 公共施設等総合管理計画の出口対策として、普通財産を管理換する場合の課題を整理して判断基準を定めた。
今後の課題 解決策	公共施設の用途廃止や集約化・多機能化の検討は、持続可能な財政運営確保に向けた取組項目に関連付けて、その削減効果を予算編成や財政見通しに反映させたい。 遊休化した普通財産の貸付・売却を推進するため、基準となる価格の算定方法や減免等のあり方を検討し、例規類の整備を進めていく。